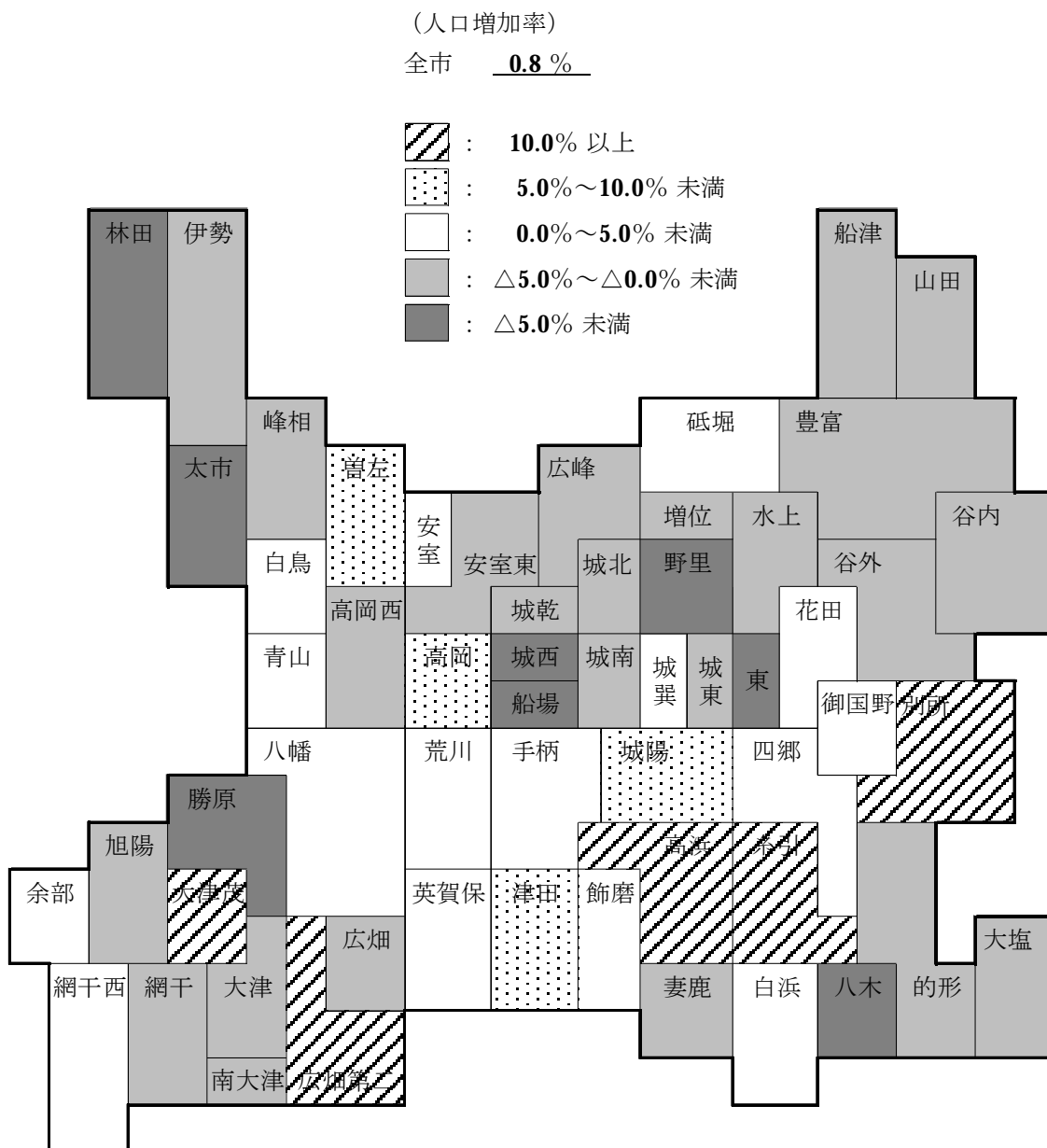


## 調査結果の概要

### 1 校区別人口

小学校区別に平成12年からの人口増減をみると、57校区のうち人口が増加したのは25校区で、大津茂校区で1,346人、24.9%増加したのを始め、別所校区800人(15.5%)増、高浜校区1,645人(14.9%)増、広畑第二校区1,153人(11.5%)増、糸引校区792人(10.2%)増などとなっている。一方、人口が減少した校区は、野里校区で704人(11.4%)減、東校区680人(7.5%)減、八木校区188人(6.3%)減などとなっている。なお、姫路市全体では0.8%の増加となっている。

図1 校区別人口増加率(平成12年～平成17年)



2 校区別老年人口の割合

小学校区別に老年人口の割合（校区人口総数に対する 65 歳以上人口の割合）をみると、割合が高い校区は、城南校区が 29.9%、谷内校区が 27.3%、野里校区が 27.0%の順となっている。一方、割合が低い校区は、津田校区が 12.2%、糸引校区が 13.5%、高浜校区が 13.6%の順となっている。なお、姫路市全体では 18.4%となっている。

図2 校区別老年人口の割合(平成17年)

